貝塚市社協ホームページ

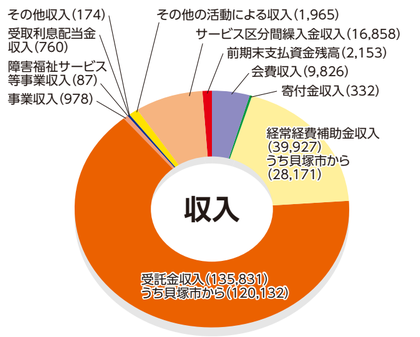
社協かいづか

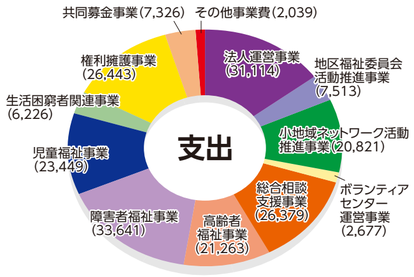
第265号

編集・発行：社会福祉法人 貝塚市社会福祉協議会　年6回発行（奇数月）
〒597-0072 貝塚市畠中1-18-8　保健・福祉合同庁舎3F　☎072-439-0294　ホームページ http://park11.wakwak.com/~k-shakyo/

決算について

令和７年度一般会計決算 208,891千円
（サービス区分間繰入16,858千円含む）





貝塚市からの補助金・受託金

	（千円）
一般運営費	7,819
小地域ネットワーク活動推進事業費	14,937
日常生活自立支援事業費	3,549
ふれあい喫茶運営費	1,815
ふれあい訪問事業	50
コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	15,750
重層的支援体制整備事業	10,629
生活支援コーディネーター事業	20,000
子育て支援センター事業	14,043
一時預かり事業	3,114
ファミリーサポートセンター事業	5,860
基幹相談支援センター事業(者)	24,676
基幹相談支援センター事業(児)	8,740
家計改善支援事業	4,698
成年後見制度利用支援事業	12,622

地域の暮らしを支える仕組みづくり

6月10日に理事会、6月29日に評議員会を開催し、令和７年度事業報告・決算を承認しました。

事業報告について

本年度は、本会の活動指針である「第5次地域福祉活動計画」に基づき、基本目標「地域の暮らしを支える仕組みづくり」に重点をおいた活動を実施しました。

■総括

地域住民の暮らしを支える身近な相談機関として、関係機関・団体との連携を深めながら、権利擁護支援及び地域福祉の推進に取り組みました。特に「権利擁護サポートセンターかいづか」の開設・運営、相談支援体制の充実、社協活動の啓発等に注力し、組織体制の見直しによる効果的な事業運営に努めました。

■重点事業の実施状況

1．権利擁護支援の推進と中核機関の開設

「地域福祉活動計画」の推進3年目として、地域における権利擁護支援体制の構築に注力しました。特に市から受託した成年後見制度利用促進における中核機関（通称：権利擁護サポートセンターかいづか）については、開設に向けて9月末までは準備会を開催しながら、関係機関との協議や運営体制の整備を進めました。10月の開設後は、相談対応や関係機関との連携調整を行い、権利擁護支援の拠点として着実な運用に努めました。また、制度利用に関する相談支援や普及啓発を通じて、成年後見制度を始めとする権利擁護支援に関する理解促進に取り組みました。

2．地域福祉の推進

地域福祉の推進においては、地域住民や関係団体とのつながりを大切にしながら、地域で支え合う仕組みづくりを進めました。特に拡大地域ケア会議の開催を通じて、個別の課題や地域課題の把握に努めるとともに、必要に応じて関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。

また、地域活動や相談支援を通じて住民同士のつながりづくりを進め、地域課題の早期把握と支援につながる体制づくりに努めました。

3．「社協を知るBook（通称：ほんならBook）」の作成

社協の役割や活動をより身近に感じていただくため、プロジェクトチームによる「社協を知るBook」（通称：ほんならBook）の作成に取り組みました。第1版を地域の関係者に配布した後は、直接寄せられた感想や意見を集約するとともに、内容の見直しや改善を行いながら、より充実した第2版（完成版）の作成へとつなげました。

4．相談支援体制の拡充と組織運営の強化

受託事業の拡大に伴い職員体制の充実を図る中で、円滑な事業運営を行うため組織再編を実施しました。各部署の役割を整理し、情報共有や連携を強化することで、相談支援や地域支援をより効果的に進める体制づくりに努めました。

また、障害者基幹相談支援センター事業においては、地域生活支援拠点等整備コーディネート業務を拡充し、障害児から障害者まで切れ目のない総合的な相談支援体制づくりに取り組みました。

照準

皆がよくカラオケで歌う♪街の灯りがとてもきれいねヨコハマ♪このフレーズで始まる「ブルーライト・ヨコハマ」や「亜麻色の髪の乙女」などを手掛け、昭和の歌謡界を牽引した作詞家の橋本淳さんが死去した。グループサウンズの代表作家としても知られ、「ブルー・シャトウ」は、昭和42年の日本レコード大賞に輝いた◆そして今年もまた出た。出生数67万人で最少更新。厚生労働省は、令和7年の人口動態統計を発表した。昨年1年間に国内で生まれた日本人の子どもの数（出生数）は67万1236人で過去最少となり、1899年の統計開始以降またまた70万人を下回った。1人の女性が生涯に産む子どもの数を示す「合計特殊出生率」は1.14となり3年連続で過去最低を更新した。ただ、出生数の対前年減少率は2.2%で、5%台で推移した令和4～6年に比べ穏やかな減少となった。婚姻件数は前年に比べ4027組多い48万9119人で2年連続の増加となった。死亡数は、5年ぶりの減少となる158万9489人。死亡数から出生数を引いた人口の「自然減」は19年連続となった◆中東情勢の悪化などによる物価上昇は、生活費を圧迫し、少子化を加速させかねない。引き続き社会全体で子育て環境を推進し、経済的支援はもちろん、子育てをしながら働きやすい環境作りや福祉サービスの充実が必要だ。（M）

活動しています

社会全体が暮らしやすくなるように

手話サークル貝の子　竹下　武

定年退職してひきこもりがちな生活をしていた時、ろう者（重度聴覚障害者）から声をかけていただき、20年ぶりに手話サークルに復帰しました。

手話は、手の形や表情などを駆使して表現する言語であり、ろう者の大切なコミュニケーション手段です。

手話通訳をする時、言葉の意味を正しく瞬時に理解して、双方の言語に変換します。ですから日々、日本語の勉強も欠かせません。

それと、手話＝ろう者に関わって社会勉強もしています。「ろう者は、社会生活の中で、どんな不便や苦労があるのだろうか？」ということも考えます。

ろう者には、音声による情報は届きにくいです。手話や文字、画像等による視覚情報が必要です。

誰かが不便なことは、同じように不便に感じている人がいるはずです。そのような不便を一つでも無くしていけば、ろう者はもとより、社会全体がより暮らしやすくなると信じています。

手話サークルでは、いろんな人と出会い、いろんなことを話します。そして、いろんなことに取り組んで、いろんなことを知りました。ろう者のためにと始めた手話学習が、知らぬ間に自身の生涯学習になっていました。

持ちつ持たれつ、笑顔で活動できれば、こんな楽しいことはありません。

職員募集

貝塚市社会福祉協議会では、正規職員２名を募集します。

- **応募資格**　昭和39年10月2日以降に生まれた人で、普通自動車免許（AT限定可・新卒者は取得見込み可）を所持しており、次の①～②の要件のいずれかを満たす人
  - ①社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、看護師のいずれかの資格を有する人（新卒者は取得見込み可）
  - ②介護支援専門員または社会福祉主事任用資格を有し、相談業務に３年以上従事している人
- **採用日**　令和8年10月1日　※採用日は相談に応じます
- **業務内容**　社会福祉協議会が行う事業全般（コミュニティソーシャルワーク、権利擁護に関する相談業務、総務企画・啓発業務等）及び一般事務
- **募集期間**　令和８年７月13日（月）から令和８年８月10日（月）まで（必着）
- **試験日**　令和８年８月16日（日）

※業務内容、勤務条件、提出書類、試験内容など詳細は貝塚市社会福祉協議会ホームページの募集要項を参照してください。

問合せ先　貝塚市畠中1-18-8　保健・福祉合同庁舎内
貝塚市社会福祉協議会　☎072-439-0294

気軽に集まれる交流の場に　鳥羽ふれあいランチ

鳥羽町会では、6月13日（土）午前11時から「鳥羽ふれあいランチ」をオープンし、来場者38名、スタッフ14名が参加しました。

子どもから高齢者まで町内の住民が気軽に集まれる交流の場をつくりたいとの思いで立ち上げました。

また、ランチにした理由は、モーニングよりゆったり外出でき、運営する側の負担も少なく、活動しやすく楽しく参加できるようにと考えたからです。

この日は、子どもたちの居場所づくりと地域住民との交流活動として行っている「寺子屋」のノウハウを生かして、役員を中心としたメンバーが調理や配膳、案内係等を担当しました。

高齢者や親子連れ、「町内放送を聞いてきた」と友達同士で参加した子どもたちなどが、カレーライスを食べながら楽しい時間を過ごしていました。

今年度は、今後５回の開催予定で、季節に応じて豚汁や炊き込みご飯などの献立も予定されています。

権サポ知っトクシリーズ

「うちは大丈夫？」から始める遺言の話

～知っておきたい基本のキ～

うちは資産が少ないから関係ない？　エンディングノートに書いたから大丈夫？　身寄りがないと私の財産はどうなるの？

遺言書がなければどうなるの？
遺言でできること・できないことについて話を聞いてみませんか？

- **講師**　司法書士・行政書士みなみ大阪法務事務所　溝上 裕介 氏
- **日時**　令和８年９月９日（水）13：30～14：30
- **場所**　貝塚市保健・福祉合同庁舎　３階　大会議室
- **対象者**　貝塚市在住・在勤・在学の方　50名（先着順）
- **申込方法**　電話、FAX、またはメールでお申し込み下さい
- **申込・問合せ先**　権利擁護サポートセンターかいづか（貝塚市社協内）
  ☎072-493-3111　FAX：072-439-0035
  Email：ka-shakyo@aa.wakwak.com

７月は「愛の血液助け合い運動」月間です

「献血で 誰かに届く あなたの勇気」

毎年７月に「愛の血液助け合い運動」月間を実施しています。本運動を通じて、国民一人ひとり、特に若い世代に献血へのご理解とご協力を呼びかけます。献血は命を救う身近なボランティアです。

ぜひ、献血のご協力をお願いいたします。

日付：7月18日（土）　場所：イオン貝塚
時間：10：00～12：00・13：00～16：30

日付：9月12日（土）　場所：コープ貝塚
時間：10：00～12：00・13：00～16：30

輸血の安全性を高めるため、400mlの献血が求められています。
対象は男性17～69歳・女性18～69歳で、いずれも体重50kg以上のかたです。※ただし、65歳以上のかたについては、60～64歳の間に献血経験がある方に限られます。

問合せ先　社会福祉協議会　☎072-439-0294

WAKIHAMA わきはまこども園
幼保連携型認定こども園
家庭のなぐもりの中で思いやりの心が芽ばえます。
〒597-0073 大阪府貝塚市脇浜3丁目31番8号
TEL:072-431-2151　FAX:072-431-2150

OOZORA おおぞらこども園
幼保連携型認定こども園
〒597-0091 大阪府貝塚市二色２丁目11－1
TEL:072-432-5222　FAX:072-432-6780

「安心・信頼・満足」して頂けるサービスを
SINCE 1977 貝塚誠心園
貝塚市森 1103-2
TEL.072-446-8022
◆特別養護老人ホーム
◆ショートステイ
◆ケアプランセンター
◆診療所
SINCE 2007 高齢者地域福祉施設 きしまの里
貝塚市三ツ松 869-1
TEL.072-446-8200
◆地域密着型特別養護老人ホーム（ユニット型個室）
◆ユニット型ショートステイ（ユニット型個室）
◆デイサービスセンター
◆グループホーム
◆診療所
社会福祉法人 貝塚誠心園
http://seishinen.com

目が見えない見えにくい方へ
私たちと一緒に新しい世界で活動しませんか
健康増進に役立つスポーツや人との交流が広がるカラオケ等、視力がなくても楽しく参加できますよ！
貝塚市視覚障害者協会
事務局：貝塚市役所　障害福祉課内
問合せ先：井上　誠一（役員）
TEL　090-1025-0472